

コートジボワール・アビジャン自治区で都市課題解決に向けた技術協力を実現

- 道路・廃棄物管理・水道の3分野 -

渡辺巧教副市長と日本アフリカ友好横浜市会議員連盟（以下「議員連盟」）の佐藤祐文会長をはじめとするメンバーがコートジボワール共和国アビジャン自治区を訪問しました。

横浜市とアビジャン自治区（以下「自治区」）は、平成29年9月に「交流協力共同声明」を発表し、都市課題の解決や若い世代の交流、女性の活躍分野で連携していくことで合意しています。今回、自治区と「都市課題解決経験共有セミナー」を開催し、事業所管局から横浜の取組を紹介したほか、小学校やビジネスウーマンとの交流、ロベール・ブグレ・マンベ アビジャン自治区知事との面会等、共同声明に沿った協力を進めました。

アビジャン訪問概要：平成30年4月23日（月）～26日（木）

日にち	主な行程
4/23（月）	アビジャン 着
4/24（火）	<input type="checkbox"/> 都市課題解決経験共有セミナー（アビジャン自治区・横浜市共催） <input type="checkbox"/> アビジャン自治区公式歓迎式典 <input type="checkbox"/> ジェニファー・ブランキ アフリカ開発銀行副総裁及びアマドゥ・ホット 同副総裁面会 <input type="checkbox"/> 川村 裕 駐コートジボワール日本国特命全権大使面会
4/25（水）	<input type="checkbox"/> アトランティッド国立小学校訪問 <input type="checkbox"/> ミッシェル・ヤキス社訪問 <input type="checkbox"/> フランソワ・アルベール・アミチア コートジボワール共和国スポーツ・レクリエーション大臣面会 <input type="checkbox"/> ロベール・ブグレ・マンベ アビジャン自治区知事面会
4/26（木）	<input type="checkbox"/> コフィ・アメデ・クアク コートジボワール共和国経済インフラ大臣面会 アビジャン 発

1 都市課題解決経験共有セミナー

自治区及び横浜市の共催で、「都市課題解決経験共有セミナー」を開催しました。

人口急増に伴う交通渋滞や水の供給不足、ごみの増加等の課題に直面する自治区の現状に対し、横浜市は道路・水道・廃棄物管理の3つの分野における同様の都市課題を克服してきた経験を紹介しました。その後、自治区からは、交通渋滞解消を目的とした交差点の立体化等、3つの分野の現状について紹介がありました。

また、会場からは、道路管理方法や工業用水に関する質問が寄せられました。



裏面あり

2 アビジャン自治区内インフラ視察

都市課題解決経験共有セミナーでプレゼンテーションを行った横浜市の事業所管局職員が、アビジャン市内の交通渋滞の状況や廃棄物処分場、浄水施設を視察しました。廃棄物処分場では、横浜で研修を受けた経験のある自治区職員も同席し、現状・課題を共有しました。



3 ミッシェル・ヤキス社訪問

アビジャン市内で衣料品の製造・販売を行っているミッシェル・ヤキス社を訪問しました。

ミッシェル・キャロライン・オケイ代表取締役は、平成28年に「日アフリカビジネスウーマン交流プログラム」に参加し横浜を訪問しています。オケイ氏は、「横浜での研修で日本の女性起業家と意見交換し、また、横浜での起業支援制度を学んで、刺激を受けた。帰国後は女性起業家に自分の経験を伝えている。」と話しました。



4 アトランティッド国立小学校訪問

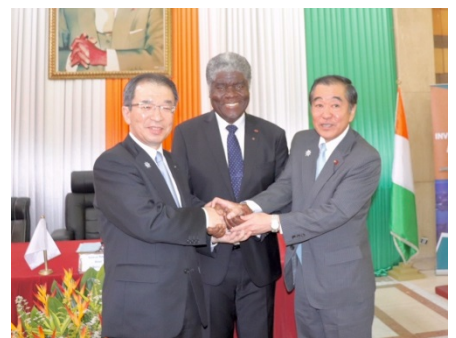
横浜市立桜岡小学校（港南区）との交流がスタートすることになった、アトランティッド国立小学校を訪問しました。全校生徒約300名の盛大な歓迎を受け、桜岡小児童が作った折り紙と、給食や掃除の様子など学校生活を紹介する写真をお渡ししました。また、議員連盟から、サッカーのユニフォームやボールが贈られるとともに、桜岡小OBでもある田野井議員から同小児童が作ったこいのぼりが手渡されました。クアディオ校長先生は「両校児童の交流を大切にしていきたい。」と話しました。



5 その他、面会等

・アビジャン自治区公式歓迎式典、知事面会

マンベ知事は3つの分野や学校交流で協力が進んでいることを踏まえ、「両自治体の協力は、コートジボワールの他の自治体にも影響を与える。」と言及されました。渡辺副市長は「今後も協力を深め、ともに成長を目指してまいりましょう。」と呼びかけ、佐藤会長は「両自治体の関係が日本とアフリカをつなぐ架け橋となるよう、議員連盟として力を尽くしていきたい。」と挨拶しました。



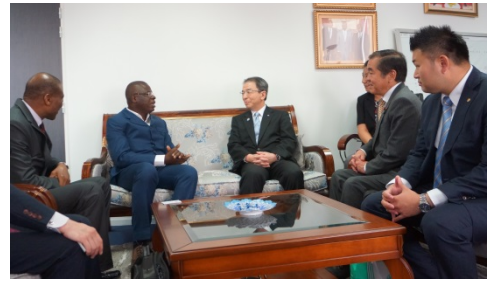
・スポーツ・レクリエーション大臣面会

フランソワ・アルペール・アミチア コートジボワール共和国スポーツ・レクリエーション大臣を表敬訪問しました。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会での同国の活躍を横浜市としても応援したいと伝えました。



・経済インフラ大臣面会

コフィ・アメデ・クアク コートジボワール共和国経済インフラ大臣を表敬訪問し、横浜市とアビジャン自治区が3つの分野で連携を推進していることをお伝えしました。なお、クアク大臣は平成30年2月に横浜を訪れており、その際、横浜市の渋滞緩和施策を紹介しています。



・アフリカ開発銀行副総裁面会

ジェニファー・ブランキ副総裁及びアマドゥ・ホット副総裁と面会し、女性の活躍推進や省エネの分野での協力、また、平成31(2019)年に横浜で開催される第7回アフリカ開発会議における連携の可能性について、意見交換を行いました。



※写真の提供をご希望される場合は、お問合せ先（国際局国際連携課）へご連絡ください。

お問合せ先			
(出張、アフリカとの交流・連携について)	国際局国際連携課長	富岡典夫	Tel 045-671-4719
(日本アフリカ友好横浜市議員連盟について)	議会局政策調査課長	青木正博	Tel 045-671-3006

裏面参考あり

《参考》

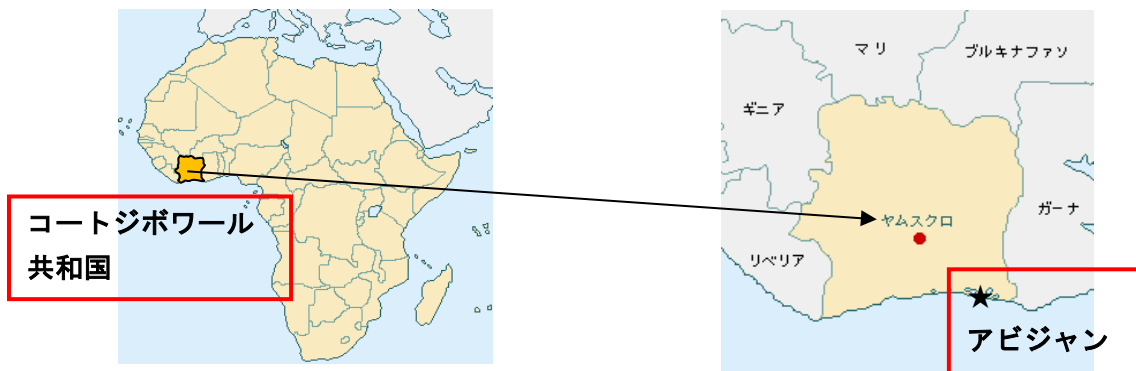
□ アビジャン自治区について

人口約 600 万人。西アフリカ、コートジボワール共和国の行政・経済の中心地で、実質的な首都機能を果たす（首都はヤムスクロ）。

平成 27 年 10 月、日本とフランス両政府首脳が、「アフリカにおける持続可能な開発、保健及び安全のための日仏計画」を採択し、アビジャン自治区は、アフリカの持続可能な都市に関する日仏協力のパイロット都市となることが確認されました。

こうした中、アビジャン自治区のロベール・ブグレ・マンベ知事が 29 年 9 月に横浜を訪問し、両都市は「交流協力共同声明」(*)を公表しました。内容は、都市課題解決・開発の促進、女性の活躍推進、若い世代の交流促進などの分野で経験の共有や意見交換を行い、連携を深めていくこととしています。同知事は、桜岡小学校、神奈川県警察交通管制センター、横浜港、資源循環局鶴見工場、株式会社京三製作所を訪問しました。

また、横浜市は、平成 30 年 2 月に JICA と連携して「廃棄物管理研修」を行い、アビジャン自治区の廃棄物担当官等が参加しています。



(地図：外務省 HP 引用)

* 交流協力共同声明

横浜市は、姉妹・友好都市やパートナー都市との交流に加え、「ともに成長する」理念を共有できる分野で交流・協力を行う「交流協力共同声明」を行っています（イスラエル・テルアビブ-ヤッフォ市、ペルー・カヤオ市、ベナン・コトヌー市）。

□ 日アフリカビジネスウーマン交流プログラム

平成 25 年に横浜で開催した第 5 回アフリカ開発会議の際に日本政府が表明した具体的支援策の 1 つに、「アフリカ女性のリーダーシップ、管理、起業における能力強化」があり、この実現のため「日・アフリカビジネスウーマン交流プログラム」が立ち上げられました。横浜市は、JICA との連携により、これまでアフリカ 17 か国・計 74 名の女性企業家・関係政府職員を受入れています。

□ 日本アフリカ友好横浜市議員連盟

横浜市会は、第 4 回及び第 5 回アフリカ開発会議の横浜開催を契機に、ガーナ共和国大統領をお招きしての議場演説、ベナン共和国大統領歓迎昼食会をはじめ、アフリカ諸国との交流を行っています。平成 27 年 2 月、アフリカ諸国との友好をさらに深めることを目的に、超党派で同連盟が設立（会長：佐藤祐文議員。現在 66 名が参加）され、今回、16 名のメンバーがアビジャン自治区を訪問しました。